

# あすなろ 第87号

上浮穴高等学校 人権教育課

本校では、人権・同和教育について「全ての教育活動の中で、人権尊重の精神を養い、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての認識を深め、差別のない民主的な社会を建設しようとする意欲と実践力を育成する。」との指導目標を掲げ、計画的な指導・実践を行っています。

本号では、先月行われた人権・同和教育に関するホームルーム活動、1学期の人権デーについてお知らせします。

## 1 人権・同和教育に関するホームルーム活動

本校では各学期に一回ずつ、人権・同和教育に関するホームルーム活動を行っています。1学期は次のようなテーマでホームルーム活動を行いました。

学年	テーマ
1年	よりよい人間関係を作ろう 1組 ー外国人の権利を考えるー 2組 ー自分を知り他者を受け入れようー
2年	人権獲得のあゆみ I 1組 ー差別の起こりを学ぼうー 2組 ー部落差別の起こりを学ぼうー
3年	幸せな社会の実現 I 1組 ー就職差別の解消を目指してー 2組 ー就職差別の解消を目指してー

### 【授業の様子】

### 【生徒の感想】

1年生



2組

- 自分は時々自分を責めるときがある。友達の自分とは違う意見がおもしろかった。友達の考えから自分につなげるのが難しかった。
- 自分はしっかり言うタイプ。考え方は違うと思い、楽しかった。
- 自分は継続的なストレスに耐えられない。それぞれ違うことがわかった。
- 自分は他人のせいにする傾向がある。いろいろな考え方がある。
- 自分のことはどうにかなるけど、他人が関係すると沸点が低くなる。
- 自分はどちらのせいにするともなく、無責任で済ましてしまう。いろいろな発想があると思った。

## 【授業の様子】

2年生



## 【生徒の感想】

### 2組

- 世の中を支えている重要な仕事をしている人たちが差別の対象になっているのは考えられないことだと思います。今の時代に生まれて良かったと思いますが、いじめや差別が今もないことはないので、この世界もまだ発展途上だとも感じました。
- 幕府に対して強い気持ちで根気強く丁寧に訴えたことが差別解消に繋がったと思う。勇気をもって行動したことはすごいと思った。差別をされていた人たちが主張をして歴史が変わったことが分かった。
- 普段の生活だけでなく履物や傘まで指定をされたりして、自分だったら耐えられないと思った。差別をされていた人たちが主張をして歴史が変わったことが分かった。
- 今では考えられない差別などがあり驚きました。今ではお医者さん（医療に関わる人）が差別を受けるなんて信じられないので、社会は数百年で本当に変わるものだなと思いました。
- 今回の人権ホームルーム活動を通して、勇気をもって行動することの大切さを感じました。
- どの時代でも差別はあるんだなと思いました。差別が現代でも完全に消えているわけではないことに驚き、心が痛みました。

3年生



### 1組

- 数か月後、就職活動をする人もいます。私も、必ず通る道であり、差別につながる質問を受ける可能性も0ではないので、学校で学んだことを最大限に生かしたいです。
- 家族関係のことなどを面接で聞かれたら、しっかりと「答えません」と言えるように、就職活動をするまでに練習をしておきたい。
- とても難しいことだと思った。面接は慣れていないため緊張してしまい、合否で人生が変わることも考えると、この質問が差別につながるなどと考える余裕はないかもしれない。差別につながるかは視点によって違うが、自分の意見をしっかりと持ちたいと思った。
- グレーゾーンである質問が結構あると思いました。自分は緊張しやすいので、差別につながる質問に答えてしまう可能性が高いですが、気をつけられるようにしたいです。

## 2 人権デーについて

本校では年に10回、「人権デー」という日を設けて、SHRの時間に同和問題をはじめとする様々な人権問題について考える機会を設けています。今年度から保護者向けには、HPやClassiを通してお知らせしています。

ぜひ、御家庭においても同和問題をはじめとする様々な人権問題について話し合い、考える機会にいただければと思っています。

今学期のテーマ	5月	これからの幸せのために（生徒人権作文より）
	6月	「ヤングケアラー」を知っていますか
	7月	共生社会の実現のために

